

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2020年12月 検針分)

2020年7月 ～ 2020年9月 のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2020年12月 検針分の単位料金は、2020年11月 検針分 に比べて、1 m³(45MJ)当り
▲ 4.72 円(消費税込)、標準家庭(26 m³)では月額 ▲ 123 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2020年11月	(B) 2020年12月	(B)-(A)
A料金表 (0 m ³ ～24 m ³)	円／m ³	216.92	212.20	▲ 4.72
B料金表 (24 m ³ を超える)	円／m ³	157.86	153.14	▲ 4.72

●平均原料価格

	単位	2020年6月 ～ 2020年8月	2020年7月 ～ 2020年9月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円／トン	39,770	34,360	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円／トン	38,000	39,190	
平均原料価格	円／トン	39,850	34,750	46,100

平均原料価格＝LNG平均価格×0.9541＋LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格} && (\text{平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき}) \\
 &= 46,100 - 34,750 = 11,300 \text{ 円/トン} \\
 &&& (100円未満端数切捨て)
 \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 - 0.084 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2020年12月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0 m ³ ～24 m ³)	円／m ³	222.65	212.20	▲ 10.45
B料金表 (24 m ³ を超える)	円／m ³	163.59	153.14	▲ 10.45

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2020年11月	(B) 2020年12月	影響額 (B)-(A)
26	6,275	6,152	▲ 123

計算式・・・基本料金(税込)＋調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)